

年頭のあいさつ

他者を思いやる心で
安全な運転を

一般社団法人 山形県自家用自動車協会

会長 平井 康博

て、新たに高市自民党総裁が誕生、長年続いた自公連立が解体し、自民と維新の新しい枠組みが誕生するなど、政界の再編もありました。良くも悪くも時代が大きく動き始めていることを痛感した1年でもありました。

故は、全国的にも多発しており、本県でも発生しています。これまでも自転車運転者に対する取締りは行われてきましたが、違反に反則金を課すなど、ルールの違反はより厳しく取締まられることとなります。自転車を歩行者の延長と簡単に考えて乗っている人も多いと思います。あくまでも自転車は道路交通法上軽車両であり、自動車同等の安全運転を求められています。ご子息や周りの高齢者

にも注意喚起をお願いしたいと思っています。

自動車運転時は、皆さん安全に配慮していると思いますが、ヒューマンエラーは必ず起きるものです。だからこそ常に安全に止まれる速度、車間距離は必要です。交通事故はほんの少しの油断で相手、自分自身を傷つけてしまいます。また、身体的、経済的に大きな損失を受けるものです。

警察・自治体・交通安全団体・自動車製造業者がいかに努力しても交通事故をなくすのは、最終的には運転者自身です。個人が他の誰かのために慎重に自動車を運転していくことが重要であります。私も他者を思いやる心で常に運転していくことを改めて誓いたいと思います。

当協会は、関係機関・団体と連携を図りながら、自家用自動車の点検整備の促進や子どもと高齢者の事故防止を重点に、思いやりのある安全運転の広報啓発に努めると共に、不慮の事故への備えとなる自動車共済への加入を自動車ユーザーに働きかける等、本年も安全で快適な車社会の実現に向けて事業活動に取り組む所存であります。

終わりに皆様の益々のご健勝を心からご祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。



定価1部・20円

会員の購読料は会費に含まれております

発行所

山形市大字漆山字行段1422

一般社団法人

山形県自家用自動車協会

電話023 (686) 3951

<https://www.y-jikayo.or.jp>

印刷・印刷所

謹賀新年
令和8年新年号

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

令和8年の新春を迎えるにあたり、貴協会の皆様にご挨拶を申し上げます。平素より、自家用自動車の健全な発展と交通安全思想の普及にご尽力いただくとともに、

の自動車保有台数が、全国第2位となるなど、依然として自動車は国民の日常生活に必要不可欠なものとなっています。一方で毎年交通事故状況にあることから、自動車の安全性能の向上が飛躍的に進み、衝突被害軽減ブレーキを始めとした安全装備の搭載が標準化されるなど、自動車の構造は電子化・高度化しており、自動車を持つ本来の安全性能を維持するためには、これまでも増して点検整備の実施が重要となっています。

点検整備推進運動を実施し、本年も定期点検整備の確実な実施を強く求めてまいります。

また、近年、自動車技術の高度化が進み、自動運転技術や電動車の普及が進むとともに、車両の電子制御装置等の状態を自己診断し、記

術の高度化に取り組んでまいります。

さらに、車輪脱落作業不備や増し締め等の保守管理不備による大型車の車輪脱落事故や整備不良による火災事故の防止も喫緊の課題です。特に、大型車の車輪脱落事故については、令和6年度に全国で120件と多発していることから、国土交通省は、関係業界と連携し大型車の車輪脱落防止キャンペーンを推進してまいります。

安全で安心な環境に優しい
「クルマ社会」の実現に向けて

東北運輸局山形運輸支局 支局長 平川 清彦

国土交通行政の円滑な推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は物価高騰等の影響により、4月以降の車検登録・届出台数が前年同月比で概ね減少するなど厳しい状況が続いているところではあります。山形県は、一世帯当たり

害軽減ブレーキを始めとした安全装備の搭載が標準化されるなど、自動車の構造は電子化・高度化しており、自動車を持つ本来の安全性能を維持するためには、これまでも増して点検整備の実施が重要となっています。

このため、昨年に引き続き「自動

録する「車載式故障診断装置(OBD)」を搭載する車両が増加していることから、一昨年10月にOBD検査を開始し、昨年10月には輸入車も対象に加わりました。国土交通省では、全国どこでも点検整備を受けられる体制の構築を目指し、関係者と連携して整備技

結に、一般社団法人山形県自家用自動車協会の益々のご発展と会員の皆様の心より祈念し、年頭の挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人山形県自家用自動車協会の皆様におかれましては、佳き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から交通安全活

これもひとえに、皆様の御尽力のたまめであると、深く感謝を申し上げる次第であります。

しかしながら、今なお多くの尊い命が交通事故で失われていることに変わりはなく、飲酒運転による交通事故が前年比で増加し、未来

国人居住者、来訪者に対する交通ルールの周知等、対応すべき課題も多くあります。

このような情勢を踏まえ、県警察では、悪質性・危険性・迷惑性の高い交通違反の指導取締り、運転者・歩行者相互が思いやりの気持ちを持

まいります。

悲惨な交通事故を1件でも減少させるためには、県民一人一人の交通安全意識を高める草の根的な取組が必要不可欠であり、それは警察だけの力でなし得るものではありません。

「交通事故防止に御協力を」

山形県警察本部 本部長 水庭 誠一郎



動に御尽力いただきますとともに、警察業務の各般にわたり、深い御理解と御協力を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。

さて、令和7年の交通事故死者数は、12月2日現在18人で、前年比6人、25.0%の減少となっております。

あることも、重傷を負う交通事故が発生している状況を見ても、県内の交通を取り巻く情勢は依然として厳しいものであると言わざるを得ません。

また、高齢化の進展を受けた高齢運転者歩行者対策増加する外

持つことで横断歩行者保護意識の浸透を図る「交通安全ありがとう運動」の展開、参加・体験実践型交通安全教育の推進、自転車等利用者に對する交通ルールの周知とヘルメットの着用促進等の取組を強力に推進し、交通事故の防止に努めて

結びになりますが、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸を御祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

山形県に根付く 交通安全ありがとう運動

「必ず止まって」横断歩道を歩行者が最優先！

大人も子供も「手をあげよう」

交通安全ありがとう

歩行者が最優先！

「手振り」で歩行者に横断を促しましょう

大人はスマートに子供ははつきりと合図しましょう

歩行者に日本一やさしい山形県

山形県警察

山形県警察は、歩行者が横断歩道で止まってくれた車にお辞儀などで感謝の気持ちを伝える「交通安全ありがとう運動」を展開しています。

横断歩道は歩行者が最優先です。ドライバーの皆さんは、横断歩道で渡ろうとしている歩行者を見かけた時は一時停止し、手などで歩行者に横断を促しましょう。

歩行者もドライバーも互いに交通ルールを守り、「歩行者に日本一やさしい山形県」を目指しましょう。

「交通安全ありがとう運動」展開中

山形県警察



年頭のご挨拶

一般社団法人全国自家用自動車協会

会長 藤野 公孝

新年あけましておめでと
うございます。
令和8年の輝かしい新春
をご家族の皆様とともに
お健やかに迎えのこと
お慶び申し上げます。また
口頭より当協会の運営に
対しまして、特段のご支援
ご協力を賜っておりますこと
に、衷心より感謝申し上げ
ます。
御高承の通り、昨年は訪

日外国人観光客の急増を背
景として、国内各地で消費
が増え、株価は史上最高値
を更新するなど景気も上
昇傾向の感がある中、円安
物価の高騰などにより、国
民生活は大変厳しい状況が
続いています。

また、政府では引き続き
2050カーボンニュート
ラルの目標達成を目指し、
商用自動車のEV化、バッ
テリー交換式EV開発、
V2H充放電設備や水素ス
テーションの整備等の充電
充てんインフラ等導入促進

補助金などを措置し、国内
の電気自動車普及を図つて
おります。
道路交通行政においては、
2025年上半期の交通事
故死者数は、1,161人と
前年同期比マイナス21人
となっているものの、幼い子供
や高齢者のかかわる痛まし
い事故や悪質交通違反によ
る事故が後を絶たず、交通
安全意識の啓発活動の重要
性に変わりありません。
このような現状を見据え、
全自協といたしまして、も
て来から実施しております
自動車点検整備推進運動
不正改造車の排除運動等の
運輸交通協力諸活動

はもとより、会員の皆様か
らの要望が強い「自動車の
保管場所現地調査」「登録
申請代行」「自動車共済自
賠責共済などの事業にか
かる情報収集と分析を拡
充するとともに、国土交通
省等関係行政機関への要望
活動を強化して、本年も会
員の皆様のお役に立てるよ
う、さらなる努力を尽くす
所存でありますので、何卒よ
ろしくお願ひ申し上げます。
結びに、改めて各自家用
自動車協会のご発展と職員
及びご家族の皆様方のご健
勝とご多幸を祈念いたしま
して、私のご挨拶といたし
ます。

令和8年使用「交通安全年間スローガン」が決まりました！

全日本交通安全協会

一般財団法人全日本交通安全協会は、交通安全活動などに活用される「令和8年使用交通安全年間スローガン」を決定し公表しました。交通安全年間スローガンは、全日本交通安全協会と毎日新聞社の共催で毎年募集しているもので、今年で61回目となります。

多数の応募作品の中から、内閣総理大臣賞（最優秀作）3点、内閣府特命担当大臣賞（優秀作）3点、文部科学大臣賞（優秀作・子ども部門のみ）1点、警察庁長官賞（優秀作）3点と全日本交通安全協会会長賞（佳作）9点が選ばれました。最優秀作の内閣総理大臣賞は次の3点で、令和8年春と秋の全国交通安全運動で使用するポスターのスローガンになります。

- ☆ 一般部門A（自動車の運転者（同乗者を含む）に呼びかけるもの）
急ぐほど 狭まる視野と 増すリスク
- ☆ 一般部門B（歩行者等（自転車等利用者を含む）に呼びかけるもの）
親を見て 子供も止まる 赤信号
- ☆ 子ども部門（子どもたちに交通安全を呼びかけるもの）
車から ぼくたちみえない 手をあげよう

一般社団法人 山形県自家用自動車協会

協会事業のご案内

協会は、地域社会における自家用自動車の健全な発展に寄与し、会員皆様の利便性の向上を図り、自動車に関わる事業を通じて交通秩序の確立と安全意識を高揚するため、次の業務を執行しております。
会員皆様のご理解・ご支援よろしくお願ひいたします。

◆主な業務

- ◎自動車検査・登録申請届出等の取扱い
- ◎整備管理者選任届出等の指導、助言
- ◎整備管理者等講習会の開催
- ◎優良整備管理者・同選任事業所の顕彰
- ◎自家用自動車の複雑・加重で不平等な税負担の是正要望
- ◎道路の整備改善に関する陳情・誓願
- ◎自動車何でも相談・交通事故相談の受付
- ◎機関紙「山形県自家用自動車」の発行
- ◎会員への自動車関連情報の提供等

◆受託事業

- ◎国土交通省から
- ◎自賠責共済（保険無保険車への加入指導
- ◎山形県から
- ◎自動車保管場所現地調査
- ◎自動車税（環境性能制・種別割）の申告書受付
- ◎県証紙・県税証紙の売捌き

- ◎東北自動車共済協同組合から
- ◎自動車共済（保険）の取扱い
- ◎自動車損害賠償責任（保険）の取扱い

- ◎山形県ハイウェイ事業協同組合から
- ◎高速道路料金後納制度利用事業への支援
- ◎物資共同購買事業への支援

- ◎その他協力支援事業
- ◎（自動車関係諸団体と共催）
- ◎自動車の点検整備・不正改造防止等の各種運動

- ◎交通安全・交通事故防止の啓発広報活動

謹んで新春の
お慶びを申し上げます

会員皆様の益々のご繁栄とご多幸を
お祈り申し上げます。
今年もよろしくお願ひ申し上げます
令和8年 元旦



一般社団法人 山形県自家用自動車協会

事務局長 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

副会長 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

専任理事 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

理事 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

監事 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

事務局長 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

事務局長 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

事務局長 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

事務局長 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

事務局長 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

事務局長 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

事務局長 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

事務局長 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

事務局長 山形県自家用自動車協会 藤野 公孝

事務局長 小椋 秀

大雪時の大型車立ち往生防止対策について

～今冬の立ち往生の発生を抑止するために～ 国土交通省

国土交通省では、令和2年12月以降の大雪により、関越道・北陸道等において多くの大型車両が路上に滞留し、大量の車両が路上に滞留する事象が発生したことを踏まえ、今冬も、①車両対策 ②運送事業者対策 ③荷主対策を3つの柱とする大雪時の立ち往生防止対策を実施しています。

①車両対策（自動車ユーザー）
・積雪凍結路では、必ず適切な冬用タイヤを装着
・運行前に冬用タイヤの溝深さが新品時の50%以上残っていることを「フラットホーム」で確認

・チェーンの携行、立ち往生する前の早めの装着

②運送事業者対策
・年末年始の輸送等に関する安全点検では実施項目「大雪に対する輸送の安全確保の実施状況」について、重点的に確認する。

・運送事業者は、大雪時等の輸送で安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、運行中止等の指示や、冬用タイヤの溝の深さや滑り止めの措置について確認する。

・雪道において悪質な立ち往生事象が発生した場合、措置が不十分と判断された場合は行政処分の対象となります。



<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

車内に用意しておきたい防災用品とは？

～クルマのトランクや車内に防災用品を常備しておけば安心感が高まります！～

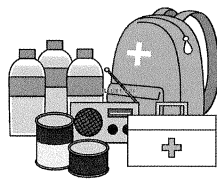
災害は突然訪れます。「自分と家族に必要なものを見極め、日頃から備えましょう。」

ポイント

・車内は寒暖差が大きく、季節によって防災用品の内容や注意点が変わります。
・徒歩で避難する際の基本的な防災用品は、車内での一時的な避難でも利用できる。

（毛布・寝袋・カイロ）／携帯トイレ／常備薬予備のメガネ／季節用品虫よけ／熱中症対策 ※夏季は高温に注意。賞味期限の確認も忘れず！

「徒歩避難の備え」
災害の規模によっては徒歩で避難する場合があります。防災リュックに以下を準備しましょう。
ラジオ（AM・FM）／懐中電灯ヘッドライト／飲料／軍手／救急箱／雨具／アルミブランケット
「乳児・幼児がいる場合」
赤ちゃんがいるご家庭で



10月の県内新車新規登録・届出数

☆10月総合計で2・7%増（6ヶ月ぶり増加）

山形県の10月における新車新規登録・届出数は、総合計4,256台で前年同月比2・7%増と6ヶ月ぶりに増加となりました。

○登録自動車は合計で0・9%増と6ヶ月ぶりに増加しました。乗用車全体では2・1%減と4ヶ月連続の減少となり、内訳として普通車が10・5%の減少、小型車は9・7%の増加となっています。貨物車全体は22・7%増で2ヶ月連続の増加その他のバス、特種等については24・1%増と1ヶ月連続の増加となりました。

○軽自動車は3・8%増と4ヶ月ぶりの増加、小型二輪車は14・7%増と3ヶ月連続の増加となりました。

登録自動車	乗用	普通	7年10月	前年同月	増減	率
			1,122	1,253	▲131	▲10.5
	小型	計	969	883	86	9.7
			2,091	2,136	▲45	▲2.1
	貨物	その他	254	207	47	22.7
			98	79	19	24.1
	計		2,443	2,422	21	0.9
			1,771	1,706	65	3.8
	小型二輪車		42	17	25	147.1
			4,256	4,145	111	2.7

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特種用途車等である。
2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値

11月の県内新車新規登録・届出数

☆11月総合計で3・4%減（2ヶ月ぶり減少）

山形県の11月における新車新規登録・届出数は、総合計3,899台で前年同月比3・4%減と2ヶ月ぶりに減少しました。

○登録自動車は合計で4・4%減と2ヶ月ぶりに減少、乗用車全体では10・1%減と5ヶ月連続の減少で、内訳では普通車が21・9%の減少に対し、小型車は11・5%の増加となっています。貨物車全体では36・1%増で3ヶ月連続の増加、その他のバス、特種等は39・8%増で2ヶ月連続の増加となりました。

登録自動車	乗用	普通	7年11月	前年同月	増減	率
			997	1,277	▲280	▲21.9
	小型	計	777	697	80	11.5
			1,774	1,974	▲200	▲10.1
	貨物	その他	249	183	66	36.1
			123	88	35	39.8
	計		2,146	2,245	▲99	▲4.4
			1,713	1,776	▲63	▲3.5
	小型二輪車		40	15	25	166.7
			3,899	4,036	▲137	▲3.4

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特種用途車等である。
2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値

東北運輸局

東北運輸局



お得な掛金で 安心 充実の補償！ スピーディな事故対応！

あなたのために、そしてみんなのために
互いに、たすけあうそれが自動車共済です
お問い合わせ・お申し込みは

明日につながるいい関係
50th Anniversary
東北自動車共済
TOHOKU AUTOMOBILE MUTUAL AID ASSOCIATION



一般社団法人 山形県自家用自動車協会
山形市大字漆山字行段1422 ☎ 023(686)3951
●山形支部 ☎ 023(686)3737 ●県南支部 ☎ 0238(37)3245 ●西置賜支部 ☎ 0238(84)1327
●最上支部 ☎ 0233(22)9850 ●酒田支部 ☎ 0234(24)3367 ●田川支部 ☎ 0235(24)1522
●関連代理所 山形県ハイウェイ事業協同組合 ☎ 023(686)2320